

令和7年第10回 魚津市教育委員会会議録

1 開催日時及び場所

令和7年10月31日（金） 場所 第一分庁舎会議室

午後4時00分～午後4時35分

2 出欠について

教育長 山 瀬 敬

1 番 伊 東 潤一郎

2 番 山 浦 春 美

3 番 片 山 さゆり

4 番 松 本 修 治

3 出席職員

事務局 長 田 中 明 子

教育総務課 長 村 崎 博

こども課 長 前 田 久 則

図書館 長 小 林 幹 子

埋没林博物館 長 石 須 秀 知

文化財保護係 長 塩 田 明 弘

教育委員会参事 入 井 孝 幸

生涯学習・スポーツ課 長 山 本 浩 司

学校給食センター所 長 井 川 勇

総務係 長 前 屋 さ お り

生涯学習・文化係 長 布 野 久 美 子

スポーツ係 長 廣 川 哲 也

4 傍聴人 なし

5 会議の要旨

午後4時 山瀬教育長が開会を宣言する。

（1）会議録署名委員の指名について

3番 片山委員を指名した。

（2）前回会議録の承認

全員異議なく承認した。

（3）議案

議案第33号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果報告（令和6年度実績）について

議 案

【教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果報告（令和6年度実績）について】

松本委員	主要な施策の成果報告書では、施策 14 は「生涯学習の推進」ですが、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書の 1 ページ目には施策名が「生涯教育の推進」となっています。生涯学習に統一した方がいいと思います。
村崎課長 教育長	「生涯教育」とあるのは、「生涯学習」の誤りです。申し訳ありません。 学校司書配置事業についてですが、児童生徒の読書冊数が年々減ってることは、非常に大きな課題だと思います。また、電子化された学校図書館の蔵書情報を活用して調べ学習等を推進するありますが、詳細について教えてください。
入井参事	学校の端末で、検索するとどういう書籍がどこにあるのかわかるようになっています。
教育長	せっかく電子化して本が探しやすくなったのであれば、利用され読書冊数が増えるのではないかなと思います。
入井参事	貸し出しの際は、バーコードを読み取り、以前に比べ手間なく借りることができている様子が見て取れました。 ただ、学校図書館の蔵書情報の電子化を実施しましたが、児童生徒の生活スタイルが変化してきた状況もあり、改めて読書の大事さを、学校図書司書を中心に取り組んでいるところです。
教育長	学校図書館司書の定期的に行っている研修会などで、児童生徒の読書の冊数が非常に減少してきているという話は出ていないのですか。
入井参事	学校生活のうち、登校から下校までの中で、以前であれば読書の時間も、有効に使えるように設定していましたが、ICT化や少し下校時間を早めるなど、読書の時間が短くなっていると状況もあります。貸し出しについては、今までどおり行っていると思いますが、学校の中で本を読む時間が、少なくなっているという推計はありました。
山浦委員	休み時間が短くなっているのも、じっくり図書館で読みたい子が読めないということですね。
入井参事	一つの要因であると思われます。
教育長	電子書籍は図書館の方で増えているようですが。
図書館長	図書館でも電子書籍を用意していますが、利用率がだんだん落ちていることが課題となっています。金額は高いですが、同時に何人も一度にできる読み放題プランもあるので、もう少し予算確保して入れることも検討が必要であると思っています。現在は、紙の本と同様に 1 人しか 1 度に見られないので、たくさん見られるのであれば学校の方でも、例えば授業で使用してもらえるかもしれないという話があります。
山浦委員	学校教育の充実で、「他県のすぐれた実践に学ぶ交流研修」について、大館市への教員派遣は昨年から実施していると思いますが、魚津市の教員が大館市で学んで、成果があった、実際やっているというような具体的な取組みがあれば教えてください。
入井参事	研修に行った教員が中心になって、市内全体で研修会を行って研修で学んできたことを伝えると同時に、その教員が勤務してる学校でも、ミニ研修会のような形で、児童生徒たちが楽しいと思えるような授業はどのように構成していくのかということについて、伝達、実践等を行っています。

教育長	大館市への派遣は今年で3年目です。教育委員さんと一緒に、実際大館市で話を聞いてきましたが、私たちの感想と、実際今の教員で行ってこられた方の思いの違いで、一番違っているところを1つ挙げるとしたら何ですか。
入井参事	授業の流れで児童生徒がその時間で考えることを大事にしてると聞いています。どうしても伝達型の授業になりがちですが、対話的な部分を取り入れて、変わっていく必要があるということを強く思っています。
山浦委員	私たちが行ったときは、ふるさとキャリア教育がすごく前面に出ていて、自分たちで、将来に向けていろんなことを経験を積んでいく、そのようなイメージが強かったですが、普段の授業の印象が強いということですか。
入井参事	将来自分で考えて、社会に参画してるような、その下地を作るのは授業であり、いろいろな授業とも連携させて、ふるさとを大事にする、愛着を持つということが、いかに自分の将来的な自立を図るためのベースになってくるということです。
山浦委員	そこをととても大事にして欲しいなと思います。キャリア教育でなくても国語の勉強でも算数の勉強でもいいのですが、全体として、ふるさとのキャリア教育に繋がっていくような授業の構成を大変強調しておられました。ぜひ魚津市でも実施していけたらと思います。
教育長	先ほど生涯学習の方でも親学び講座の取組状況の部分で説明がありましたが、リーダーになる方の後継者が非常に不足していると感じています。スポーツ分野でも同様の印象を持っています。 後継者、例えばスポーツ推進委員の方はみなさん本当に一生懸命やっておられます。若い方もおられますが、年齢の高い方も多くおられ、リーダーになっていただく方の後継者育成をどう考えていけばいいのか、やはり後継者の方々にもある程度活動に対する支援が必要ではないかと思いますが、どう考えておられますでしょうか。
山本課長	団体の中でのリーダーの継承、活動がしっかり行われるように、その会自体の支援は、スポーツ推進委員、或いは各地区の体育振興会等に行っているところですが、特にプログラムの、リーダー育成などについては勉強不足な面もあり、十分に行えてないこともあるかと思います。 そういった点でも大切なところですので、スポーツ協会とも連携し、その中でリーダーをもとに、スポーツを実践する人口の拡大に繋げていけるようなになればと思います。 スポーツを実践する人口自体が減ってきており、また種類の多様化や、余暇の過ごし方の多様化により、なかなかスポーツを選んでもらうことは難しく、どうしても普及することに目がとられがちですが、しっかり活動に取り組めるようにしていきたいと考えています。

議事が終了したので教育長が閉会を宣した。